

平成26年度全国学力・学習状況調査に関する結果分析シート

学校名 荒川区立第三中学校

学力調査名	学力調査結果分析	実施結果	
		都正答率	自校正答率
平成26年度 全国学力調査	①区学力向上調査や都学力調査では正答率がおおむね区、都の正答率を上回ったものの、全国調査で全教科にわたり正答率が全国の数値を下回る結果となった。国語Aの知識においては読むことへの経験値は高いものの文脈の中で適切に使うという点では身についた語彙力という点では低い傾向がある。本校では学校図書館活用授業を進めているところであるが、今後論理的な思考育成する取り組みを全ての教科において実施していく必要がある。国語Bにおいては複数の資料から必要な情報を読み取る力が不足している。タブレットPCおよび学校図書館での指導をいっそう確率する必要がある。 ②数学Aにおいては、図形の証明部分の理解度が低い傾向が見られる。数学Bにおいては、性質を理解し、構想を立てて証明するような論理的な思考が弱い傾向にある。このことは確率においても同様な傾向があり、樹形図等の知識を活用する中で、分類整理を思考に結びつける訓練が必要である。	数学A⇒68.8 数学B⇒61.8 国語A⇒80.7 国語B⇒53.2	数学A⇒65.2 数学B⇒55.7 国語A⇒77.9 国語B⇒46.8
平成27年度 全国学力調査	成果指標（具体的な数値指標）	都正答率	自校正答率
	国語AB、数学ABともに全国の正答率1ポイント上回る数値を目標とする。		

※ 「行の高さ」は変更していただいて構いません。